



Lisa
Larson

北欧の陶芸家 リサ・ラーソン展

暮らしを愛するすべての人へ

○新潟日報メディアシップ5周年・UX 新潟テレビ21開局35周年記念○

関連イベント

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月17日(月・祝)、10月6日(土) 各日午後2時～(30分程度)
会場：新潟市新津美術館 企画展示室
申込不要、参加無料(ただし展覧会の当日観覧券が必要)。

美術講座

時間：午後1時30分～3時
会場：新潟市新津美術館 市民ギャラリーもしくはレクチャールーム
申込不要、聴講無料。

●10月21日(日)「京都を彩った日本画家たち」

横山 秀樹(新潟市新津美術館 館長)

●11月4日(日)「工芸にみる動物のかたち」

奥村 真名美(新潟市新津美術館 学芸員)

特設ワークショップコーナー

長女ヨハンナ・ラーソン考案 マイキー ポップアップカード作成コーナー

リサ・ラーソンを代表する猫のキャラクター、マイキーのポップアップカードを作成できる特設コーナーを館内に設置。色鉛筆や消しゴムハンコを使って飾り付けたカードは、来館記念にお持ち帰りいただけます。

展覧会のご案内

●同時開催

新潟市美術館コレクション展III 笹岡了一とその周辺
9月1日(土)～12月2日(日)

●次回展覧会

エドワード・ゴーリーの優雅な秘密
2019年1月19日(土)～3月10日(日)

●新潟市美術館の展覧会 TEL:025-223-1622

《正・誤・表》美術館とそのコレクションをめぐるプログラム
9月6日(木)～9月24日(月・祝)

フランス国立図書館版画コレクション ピカソ 版画をめぐる冒険
11月3日(土・祝)～12月16日(日)



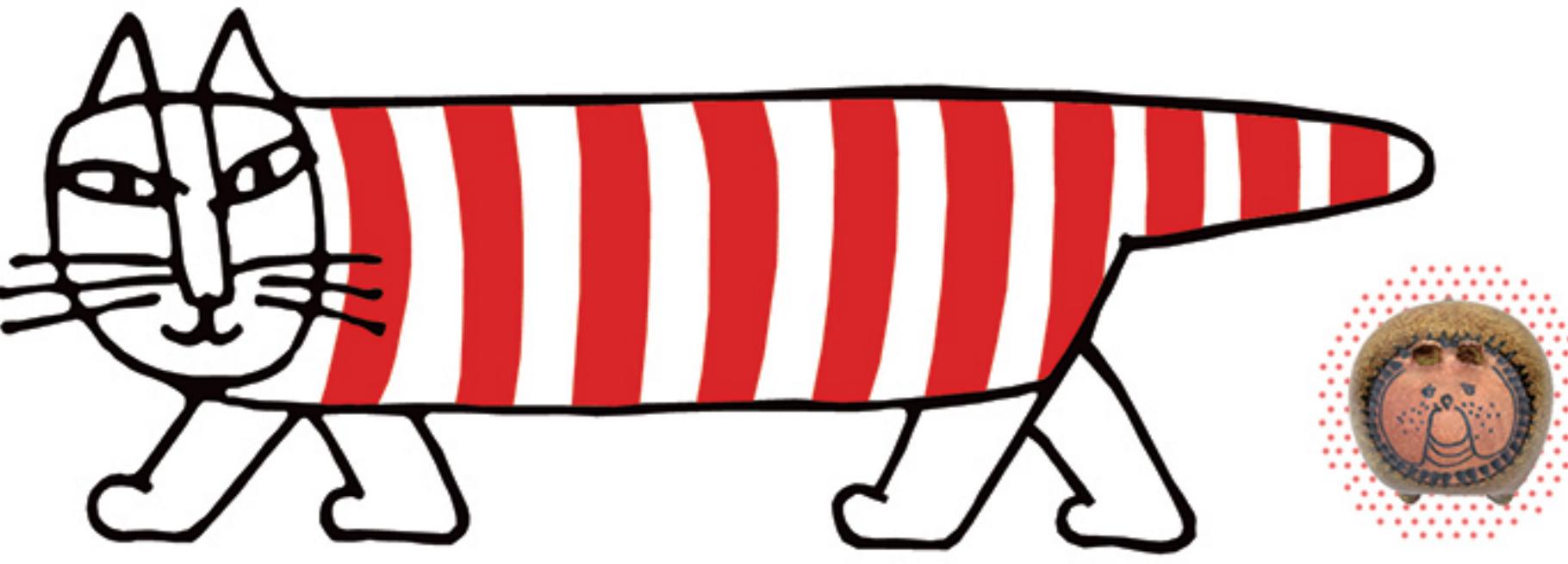
Lisa
Larson



北欧の陶芸家 リサ・ ラーソン 展

暮らしを愛するすべての人へ

○新潟日報メディアシップ5周年・UX 新潟テレビ21開局35周年記念○



©LISA LARSON

2018 9.1 [sat] → 11.11 [sun]

開館時間 AM10:00～PM5:00 (観覧券販売はPM4:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館。ただし11月5日は開館)

観覧料 一般 1,000円 大学・高校生 700円 中学生以下 無料

※有料20名以上は団体料金で2割引

※新潟県立植物園および新潟市鉄道資料館の入館券・SLばんえつクーポンを持参の方は2割引

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(手帳をご提示ください)

前売券 一般 800円 発売期間:2018年7月1日(日)から8月31日(金)まで

セブン-イレブン、新潟伊勢丹、トップトラベル新潟(Dekky401内)、文信堂長岡店(長岡駅CoCoLo内※)、インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、シネ・ウ

イン、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館の各ミュージアムショップ、新

潟市職員生活協同組合、新潟市美術館、新潟市新津美術館

※文信堂長岡店での取り扱いは7月20日(金)から。

○NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。

主催
後援

リサ・ラーソン展実行委員会、新潟市新津美術館、新潟日報社、UX 新潟テレビ21

スウェーデン大使館、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、

読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、

NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、

ラジオチャット、エフエム角田山ほかラジオ

ロースカ美術工芸博物館

フィンエア、フィンエアーカーゴ、カーテン専門館デコワールド、万代シティビルボードブレイス

アートインプレッション、松屋

企画協力

トンカチ

ISANA

作品(左より時計回り):《水玉スパニエル(ケンネルシリーズ)》1972～83年、《カッレ(ラーソン家の子供シリーズ)》1964～80年(《カッレ》1961年、《ロッタ(ラーソン家の子供シリーズ)》1962～79年、《ロッタ》1961年、《ネコ》2007年、《おばけネコミ(見世物小屋シリーズ)》1966年、《ボート・マン》1998年、《男性と少女》1970年代、《ブルドッグ(大きな動物園シリーズ)》1960～68年、《フェミニズム》2006年、《ネコのミア(大きな動物園シリーズ)》1990年(オリジナル1966年)、《花器》1955年、《束ねる鳥》1983年、《社会討論(大)》1969～71年

©Lisa Larson/Alvaro Campo

北欧の陶芸家 リサ・ラーソン展

暮らしを愛するすべての人へ

北欧の陶芸家リサ・ラーソン(1931-)が作るコケティッシュな動物や
素朴で温かみのある表情豊かな作品は、本国スウェーデンのみならず
日本をはじめとする世界各国で人気を博しています。
リサ・ラーソンは、陶磁器メーカー、グスタフスベリ社での
26年間の在籍中に約320種もの作品を制作し、
同国を代表する人気作家となりました。その後、活躍の幅を海外にも広げ、
86歳となった現在もなお創作を続けています。
本展では、2016年にスウェーデンのロエースカ美術工芸博物館で開催された
個展をもとに初期から近年までの代表作約130点をテーマ別に展示し、
さらに作家本人が所蔵するユニークピースや、
夫で画家のグンナル・ラーソンの絵画作品等も加えた
全約190点でその制作活動の全貌を紹介します。



《ハト》 1954年

《子供を抱く3人の母親たち》 1960年頃

《日本女性》 1958年



《ジグザグ模様の壺》 1988年



《シャルロッタ、ペータ、アマーリア、エンマ(ABC少女シリーズ)》 1958~73年



リサ・ラーソン

- 1931 スウェーデン南部スモーランド地方ハールンダに生まれる。
- 1949 スロイドフォーレーニング学校(現HDKヨーテボリデザイン工芸大学)進学。
- 1952 グンナル・ラーソンと結婚。
- 1954 スティグ・リンドベリのスカウトを受け、グスタフスベリ社に入社。
- 1970 大阪万博視察のため初来日。濱田庄司をはじめとした日本の陶芸家と交流。
- 1980 グスタフスベリ社を退職し、フリーランスとして活動を開始。
- 1992 かつての同僚らと共にケラミックスステュディオン社を設立。自身の作品の複刻や、新作の制作に取り組む。
- 2008 娘ヨハンナとの共同制作により猫のイラスト「マイキー」が誕生。
- 2014 日本にて「リサ・ラーソン展」開催。全国7ヶ所に巡回する。
- 2016 ロエースカ美術工芸博物館(スウェーデン、ヨーテボリ)にて回顧展「リサ・ラーソンの作陶60年」開催。

A5中綴じノート
各¥432

展覧会公式チョコクランチ ¥1,296



キーホルダー 各¥1,296

左:陶器「モア」¥17,820
中:陶器「モアミニグレー」¥12,960
右:陶器「モアミニブラウン」¥12,960益子焼
くまとのくま
¥7,560

マイキーのかたちのお皿 ¥2,160



展覧会限定クリアファイル 各¥378



展覧会限定陶器「コーギー」¥26,460



豆皿(5枚セット)¥3,240

有田焼スティムシリーズ
上:中皿¥3,780 中:ボウル¥3,240
下:小皿¥3,240

左から
陶器「ハリネズミ イギー」¥19,440
陶器「ハリネズミ バンキー」¥19,440
チョコクランチ(出会いのはりねずみ)¥1,296
陶器「ハリネズミ ビギー」¥19,440



陶器「マイ」¥19,440

マスキングテープ
上:15mm¥227
下:20mm¥324

※表示価格は全て税込です。※色味・柄・デザインなど一部商品の仕様や価格が変更となる場合がございます。
※商品は数に限りがございます。予めご了承ください。 ©LISA LARSON ©Tonkachi

リサ・ラーソン SHOP

素敵な陶器や小物などがスウェーデンから届きます。
展覧会公式グッズや限定陶器、小物など
新作アイテムが大集合!
ヴィンテージ作品もお見逃しなく。

